

スカパラ ユーロ・ツアー2006 チケット即完売の人気ぶり



マドリードの会場「サラ・カラコル」でのライブ

デビューから十七年、常に第一線を走り続けてきた人気バンド「東京スカパラダイスオーケストラ」(以下スカパラ)が、八月二十五日から九月十四日までの日程で来欧中だ。五度目となるヨーロッパ・ツアーのため、今夏は二十日間で六カ国、十六都市を訪れる。

筆者在住のスペインでは、八月三十日にバルセロナ、三十一日と九月一日にマドリッド、二日にビルバオで単独ラ

ライブを開催し、計二千五百人の観客を動員した。

スカパラのディスクはスペインでは公式発売されていないにもかかわらず、各地ともどもチケットは早々と完売。マドリッドなどは、十日前に決まった追加公演分も即ソールドアウトとなる人気ぶりだった。

「この六月にリリースされたニューアルバム『ワイルド・ピース』というのは、まさにスカパラのスピリッツなんです。ステーションはワイルド、でもそこにあるのは、ピースフルな雰囲気。会場みんなは笑顔で暴れまわっている、という。ヨーロッパではそれを最大限に観衆と共有できるように思いま

す(ドラム・茂木欣一氏談)

道中、ツアーバ



スが故障したりとハプニングム。ページは <http://www.tokyoakajipia.com> は、ほぼオンデマンドでメンバーによるフォトダイアリーが公開されている。

(在マドリッド「ラジオ・シルクロ」アナウンサー・松嶋公美)